【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和6年5月13日(2024.5.13)

【公開番号】特開2023-30142(P2023-30142A)
【公開日】令和5年3月7日(2023.3.7)
【年通号数】公開公報(特許)2023-043
【出願番号】特願2022-207909(P2022-207909)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ 23/63(2023.01)
Ｈ０４Ｎ 23/68(2023.01)
Ｇ０３Ｂ 5/00(2021.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ 23/63 ３００
Ｈ０４Ｎ 23/68
Ｇ０３Ｂ 5/00 Ｋ
Ｇ０３Ｂ 5/00 Ｄ

【手続補正書】
【提出日】令和6年5月1日(2024.5.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮像装置によって撮像された画像に基づくズーム画像を表示装置に表示し、外縁を前記表示装置に表示し、前記外縁の内側に収まるインジケータを前記表示装置に表示する制御を行う制御手段を備え、
前記インジケータは、前記撮像装置の向きの変位方向と、前記撮像装置の向きの変位量とに関する情報を示すことを特徴とする制御装置。
【請求項２】
前記インジケータは、前記撮像装置の向きの変位方向と反対方向に移動し、前記撮像装置の向きの変位量が大きいほど前記外縁に近接する請求項１に記載の制御装置。
【請求項３】
前記インジケータは像振れ補正が有効であるか無効であるかの情報を示す請求項２に記載の制御装置。
【請求項４】
前記インジケータは前記外縁に近づくと、表示態様を変化させる、請求項２に記載の制御装置。
【請求項５】
前記インジケータは矢印で表示され、
前記インジケータは、前記撮像装置の向きの変位方向と同方向に伸び、前記撮像装置の向きの変位量が大きいほど長い、請求項１に記載の制御装置。
【請求項６】
撮像装置によって撮像された画像に基づくズーム画像を表示装置に表示し、像振れ補正を有効または無効とする撮像方向に関するインジケータを前記表示装置に表示する制御を行う制御手段を備える制御装置。